

学校概要

創立 107 周年	学校長 堀江 邦子	副校長 高山 和宣	学期 2 学期制	児童・生徒数 648 人
学級数 一般級: 20 個別支援級: 4		主な関係校: 共進中学校		

学校教育目標

生き生き日枝っ子
 ・「知」自ら取り組み、学び続ける子どもを育てます。
 ・「徳」学校が好き、自分が好き、友達も好きと思える子どもを育てます。
 ・「体」自ら健康で安全な生活を送ろうとする子どもを育てます。
 ・「公」自分たちのまちを知り、好きになり、共に創っていくこととする子どもを育てます
 ・「開」様々なものの見方や考え方、感じ方のできる子どもを育てます。

学校の特色

□まちには多くの外国につながる方が住んでおり、また、外国籍児童も増えてきている。国際社会において、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思を表現できる基本的な力を育成する素地がある。
 □保護者・地域との関係は良好で、教育活動に協力的である。また、PTA活動も充実している。
 □総合活動の研究が35年目となり、まちとかかわりながら学習を進める基盤が出来上がっている。
 ■学力状況調査の結果からは、学習に対する意欲は高いが、基礎的な学力に課題が見られることが分かった。
 ■基本的な生活習慣(睡眠時間・朝食など)への関心を高める必要がある。

学校経営中期取組目標

◎学校教育目標を実現するために、「子どもが主役」になる活力と魅力のある学校づくりを目指します。
 ・生活、総合活動と児童理解を核とした学校づくり
 ・小中一貫教育、幼保小連携を充実させ、家庭・地域と連携した信頼される学校づくり
 ・教職員が相互に啓発連携し、一人ひとりが学校運営に参画できる学校づくり

小中一貫教育の取組

共進中	ブロック : 共進中 太田小 日枝小
9年間で育てる子ども像	・学ぶ楽しさを知り、自らの人生を切りひらく子ども ・自他ともに大切にし、思いやりを忘れずに人に接する子ども ・あいさつができ、健やかな心と体を育む子ども
自校の具体的取組	○生活、総合活動を研究の中心に据えて、学習への意欲を高めるとともに、まちと積極的にかかわり、まちに生きる子どもたちに必要な資質を育てます。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	豊かな体験を通して総合活動「横浜の時間」の充実を図る。学習習慣の定着に向けて、保護者や地域の理解と協力による学力向上の取組を行う。	○日々の生活のから課題を見つけ、人とかかわる経験を積み重ねながら解決していく。 ○子ども自ら見通しをもって、振り返りを行う。保護者や地域とともに、「横浜市学力学習状況調査」の成果や課題・取組を共有していく。 ○放課後学習サポート事業(アフタースクール)の更なる充実を図る。
豊かな心	国籍や言葉の壁を越えて、一人ひとりが認め合い、協同して学校生活を送れるようにする。	○道徳の時間をはじめとする全教育活動の中で、自己の生活をふり振り返りながら、発達段階に即して道徳的価値を自覚し、道徳的実践力を育む。 ○総合活動で、他とのかかわりの中で、自分自身を見つめたり、お互いを認め合い、高め合うことで、自己肯定感や自己の生き方を探求しようとする意欲を高める。
健やかな体	心身ともに健やかな成長を目指し、自ら健康で安全な生活を送ることができるようにする。	○日頃より自己に適した課題に気付いたり、運動に親しみ運動の楽しさや喜びを味わったりして、たくましい身体をつくる。 ○自己の心や身体の健康課題について気付き、自ら心と体を健やかに育もうとする意欲を高めるために、年間を通した体育的プログラムをつくる。
特別支援教育	特別な支援が必要な子どもの実態に合わせた指導を充実させ、学習に必要な力や自己肯定感を高め、安心して自信をもって過ごせるようにする。	○特別支援が必要な児童の情報交換、研修の設定などを通して、「合理的配慮」「基礎的環境整備」の考え、「ユニバーサルデザイン」に基づいた授業づくり、機関との連携を理解する。 ○日本語指導が必要な児童に合わせた指導に向け、校内や「国際交流ラウンジ」などの支援内容、体制を理解し、個に応じた指導を進める。
地域連携	生活科、総合活動で地域と継続的にかかわり、双方向的な関連を作っていくようにする。	○幼保小や関係機関との連携を密にしていこうにする。 ○総合活動の中でも、積極的に地域材を取り入れたり、地域行事(例大祭・地域防災訓練)に積極的に参加する。
児童指導	仲間との良好な関係や、集団への積極的なかかわりを自ら育む資質や能力の定着を図る。	○子ども自身が日枝小学校のきまりをもとに、YPアセスメントの3つの項目「自分づくり」「仲間づくり」「集団づくり」をしていくことができる学級・学校づくりを推進する。 ○登校支援に向けて、「登校支援アプローチプラン」の作成などにより、自己有用感や自己肯定感をもつ。
いじめへの対応	児童生徒一人ひとりの心理や特性を見出す児童理解に努める。また、道徳教育、人権教育の充実を図る。	○児童の心の動きをとらえるため、カウンセリングスキルに関する研修を行う。 ○各教科、総合学習、特別の教科道徳等において、児童に自己を見つめ、より多角的・多面的にとらえ、自らの考えを深める力を育む学習を行う。
人材育成・組織運営	メンターチームを充実させ、教職員が互いに研鑽し合いながら、組織的、計画的に授業力や学級経営力を高める。	○メンターチームをつくり、活動計画を立てる。 ○教員同士がよりよい授業から学ぶ機会の提供や、教科主任による研修の充実を図る。 ○教職員が働きやすい職場環境の整備を進める。